



2024年3月26日

各位

会社名 F I G 株式会社
代表者名 代表取締役社長 村井 雄司
(コード：4392 東証プライム 福証)
問合せ先 取締役常務執行役員 岐部 和久
(TEL. 097-576-8730)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月13日にプライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2023年12月31日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたのでお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2023年12月末時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は以下のとおりとなっており、流通株式時価総額はその基準を充たしておりません。このため当社は、流通株式時価総額について2024年12月末までに上場維持基準を充たすために、引き続き各種取り組みを進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率	一日平均 売買代金
当社の適合 状況及び その推移	2021年6月30日 (移行基準日時点)	18,676人	189,623単位	53.3億円	61.0%	22.7百万円
	2022年12月31日	15,649人	185,827単位	75.6億円	59.3%	74.8百万円
	2023年12月31日	14,714人	188,933単位	63.6億円	60.1%	52.6百万円
プライム市場上場維持基準		800人	20,000単位	100億円	35.0%	20百万円
適合状況及び当初の計画に 記載した計画期間		適合	適合	2024年 12月末	適合	適合

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況及び評価

当社は、2021年12月13日に公表した「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」(以下、適合計画)において、プライム市場の上場維持基準適合に向けた取り組みの方針を定めるとともに、2022年2月10日に「中期経営計画(FY2022-FY2024)」を公表しました。移行基準日以降、プライム市場上場維持基準を充たしていない流通株式時価総額について、企業価値「倍増への挑戦」をテーマに「EPSの倍増+PER30倍以上+流通株式比率5%増」により充足を目指す方針を掲げており、収益と資本効率のKPIを設定しております。

同計画に基づき各種取り組みを実施しておりますが、足元での当社PBRは1倍前後で推移しているため、PBR向上が経営の重要課題であり、資本コストを上回る資本収益性と投資者から期待される成長性が重要であると認識しております。

2024年12月期は、事業ポートフォリオの見直しを実施し、経営資源をコア事業と成長投資に集中させることで持続的な成長の実現を目指しており、従来よりも資本コストや株価をより強く意識した経営を推進してまいります。

企業価値倍増に向けた取り組み内容の詳細は次のとおりです。

① EPSの倍増とPER30倍以上

FY2022は大型案件の寄与により、過去最高の売上高・営業利益となり、EPSの改善とともに株価も上昇しました。

FY2023は大型案件の剥落による営業減益や投資有価証券評価損を特別損失に計上するなど、EPSの減少により株価は下落しました。しかしながら、中期経営計画に掲げる新たな成長基盤の確立ステージとして、基盤事業（IoT×SaaS）の拡大と成長事業（ペイメントとロボット）への成長投資は着実に進展しております。

当社は、株式のバリュエーション評価向上を狙い、開示資料の充実やIR活動の強化をすすめてきました。投資家目線で中立的かつ客観的に作成されたアナリストレポートを公開、英文開示コンテンツの増加、サステナビリティ関連情報をホームページ上で公開するなど情報発信に努めてまいりました。FY2023にはホームページをリニューアルするとともに動画配信やSNSの活用をすすめ、まずは知ってもらうためのPRを強化しております。また、従来から継続してきた機関投資家と個人投資家への説明会や1on1ミーティングなど投資家との対話に加え、日本最大級のIRフェアにも参加をしました。

FY2024は、更に会社説明会への積極的な参加を行い、当社事業への理解を深めていただくことで、PER向上に努めてまいります。

(EPS・期末株価・PERの推移)

	FY2021実績	FY2022実績	FY2023実績
EPS	15.12円	23.36円	6.97円
期末株価	325円	391円	316円
PER	21.5倍	16.7倍	45.3倍

② 流通株式比率5%増

移行基準日以降、流通株式比率は横ばいとなっております。

2022年7月13日に第2回乃至第4回新株予約権（行使価額固定型）の発行と新株予約権買取契約（ターゲット・イシュー・プログラム「TIP」）を締結しました。当該新株予約権発行による潜在株式数は3,000,000株であり、うち第2回新株予約権においては当社が保有する自己株式1,918,200株を充当しておりますが、現在までに700,100株が行使されております。引き続き、行使期間の2024年7月16日までの行使を目指してまいります。

また、移行基準日以降、流通株式より除外されている事業法人等所有の株式について、保有する株主様の保有方針を尊重しながら対話を進め、一部既存株主様の株式保有比率の引き下げなど検討をすすめて流通株式比率5%増を目指すとともに、当社グループの一層の経営安定化と企業価値の向上により、流通株式時価総額の増加に努めてまいります。

③ KPI（適合計画及び中期経営計画）

FY2024は、事業ポートフォリオの見直しにより、スマートシティセグメントの賃貸不動産オフバランス化を行い、ロボット事業への成長投資に組み替えを行います。これにより、IoTとマシーンの2セグメントとなりますが、コア事業拡大と成長投資により、売上高と営業利益ともに過去最高を更新する見通しであり、株主コストを上回るROEとWACCを上回るROICを達成し、更なる資本・資産効率の向上に取り組んでまいります。

また、持続的な成長を実現するために、サステナビリティ経営の推進と人的資本への投資を継続的に実施し、FY2025から始まる次期中期経営計画に向けて持続的な成長への基盤を構築してまいります。

(KPI と進捗)

	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	
	実績	実績	実績	KPI	現予想
サブスク売上高(※)	38.0 億円	42.2 億円	45.7 億円	48 億円以上	48.6 億円
営業利益	5.6 億円	9.3 億円	7.2 億円	11 億円以上	11.2 億円
EPS	15.12 円	23.36 円	6.97 円	24 円以上	33.14 円
ROE	5.2%	7.5%	2.2%	8%以上	8%以上
ROIC	2.7%	3.8%	2.7%	4.5%以上	4.5%以上
株主資本コスト	4.8%	5.3%	6.2%	—	—
WACC	2.9%	3.3%	3.2%	—	—

※事業ポートフォリオの見直しにより、各年度実績と FY2024 予想のサブスク売上高は、スマートシティセグメントの売上高を除外しております。なお、スマートシティセグメントのサブスク売上高は約 2.4 億円のため、FY2024 のサブスク売上高 KPI は 50 億円から 48 億円計画に修正しております。

3. 上場維持基準に適合していない項目ごとのこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取り組み内容

2023 年 12 月 31 日（直近決算期末）時点において、流通株式時価総額についてプライム市場上場維持基準を充たしていませんが、業績は適合計画及び中期経営計画の発表時点より着実に向上しております。

これまでの状況を踏まえた今後の課題と取り組みにつきましては、資本コストを上回る資本収益性と投資者から期待される成長性が重要であると認識しており、適合計画及び中期経営計画最終年度である FY2024 において過去最高の売上高と営業利益及び KPI を達成すること、継続的な機関投資家と個人投資家への決算説明会の開催や IR フェア参加など積極的な IR 活動に加えて、まず知ってもらうことの PR を更に強化してまいります。

現時点において当初の適合計画からの変更はなく、引き続き、2024 年 12 月期末には上場維持基準を充たせるよう、各種取り組みを着実に進めるとともに、成長ドライバーと位置付けるロボットを中核事業へと発展させるための土台を築いてまいります。

また、株主還元策の見直しを検討するなど必要に応じたコーポレート・アクションにより企業価値の更なる向上を図り、株式市場における適正な評価の獲得を目指してまいります。

以上